

2016年1月27日

各位

オリックス株式会社
(コード番号: 8591)

2016年3月期 第3四半期連結決算

**当期純利益は前年同期比16%増の2,154億円、7期連続増益
～第2四半期に引き続き、営業収益、当期純利益ともに過去最高額を更新～**

2016年3月期第3四半期(2015年4月1日～2015年12月31日)の米国会計基準連結決算において、営業収益は前年同期比14%増の17,971億円、税引前当期純利益は同20%増の3,347億円、当期純利益は同16%増の2,154億円となりました。

なお、第3四半期累計期間の当期純利益では、7期連続で増益となり、当第2四半期に引き続き、営業収益および当期純利益ともに過去最高額を更新しました。

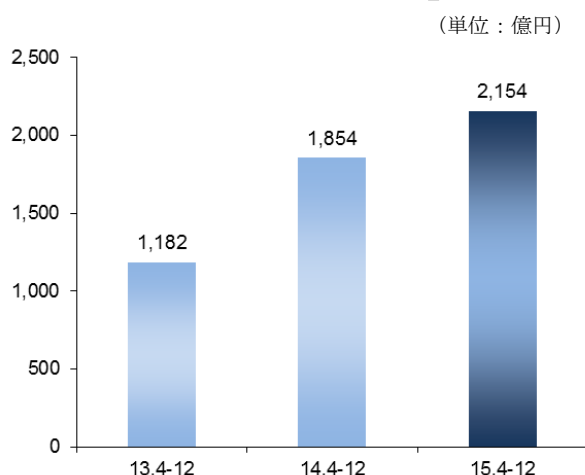
■ 主な経営指標の推移

	2014. 4-12	2015. 4-12	増減率
営業収益	15,720 億円	17,971 億円	14%
税引前当期純利益	2,783 億円	3,347 億円	20%
当期純利益 ※	1,854 億円	2,154 億円	16%
株主資本当期純利益率 (ROE: 年換算) ※	12.3%	13.0%	—

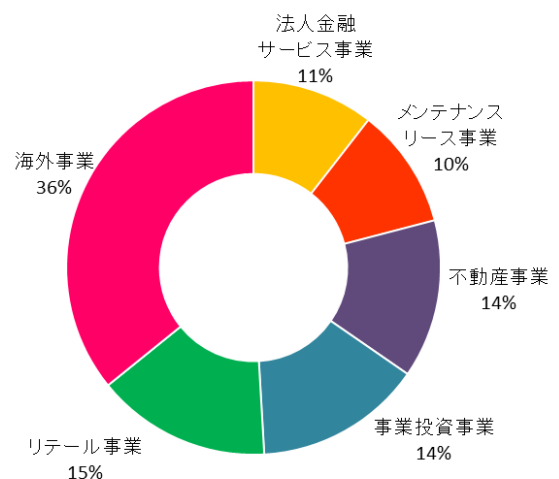
	2015. 3	2015. 12	増減率
総資産	114,436 億円	110,646 億円	▲3%
セグメント資産	91,702 億円	89,414 億円	▲2%
株主資本 ※	21,522 億円	22,734 億円	6%
株主資本比率 ※	18.8%	20.5%	—

※「当期純利益」「株主資本」は、決算短信などの財務諸表で記載している「当社株主に帰属する四半期当期純利益」「当社株主資本合計」を記載しています。「株主資本当期純利益率(ROE: 年換算)」「株主資本比率」は、当該株主資本合計を用いて算出しています。

『当期純利益の推移』



『当第3四半期のセグメント利益内訳』



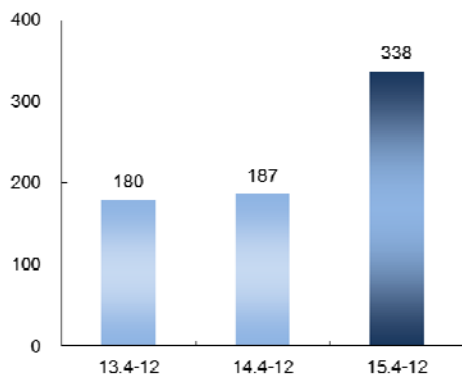
■ 各セグメントの業績概要（2015年4月1日～2015年12月31日）

当第3四半期は、前年同期と比較すると、「海外事業部門」「事業投資事業部門」「不動産事業部門」および「法人金融サービス事業部門」の利益が大きく伸長しました。加えて「メンテナンスリース事業部門」が堅調に推移しました。

【法人金融サービス事業部門】

融資、リース、各種手数料ビジネス

<第3四半期累計セグメント利益>（単位：億円）

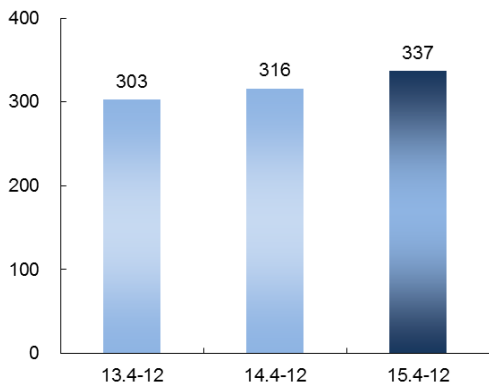


- ・2014年12月に買収した弥生の事業が好調に推移したことに加え、生命保険販売などの法人向け各種手数料ビジネスからの利益が順調に増加。
- ・当第1四半期および第3四半期に出資先の株式売却益を計上。
- ・セグメント利益は、前年同期比81%増の338億円を計上。

【メンテナンスリース事業部門】

自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、電子計測器・IT関連機器などのレンタルおよびリース

<第3四半期累計セグメント利益>（単位：億円）

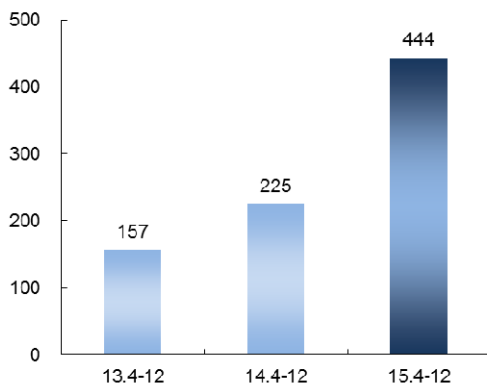


- ・自動車事業のリース資産が順調に拡大し、リース収益が増加。
- ・車両管理などの付加価値サービスの収益も増加し、高収益性を堅持。
- ・セグメント利益は、前年同期比7%増の337億円を計上。

【不動産事業部門】

不動産開発・賃貸・ファイナンス、施設運営、不動産投資法人（REIT）の資産運用・管理、不動産投資顧問

<第3四半期累計セグメント利益>（単位：億円）

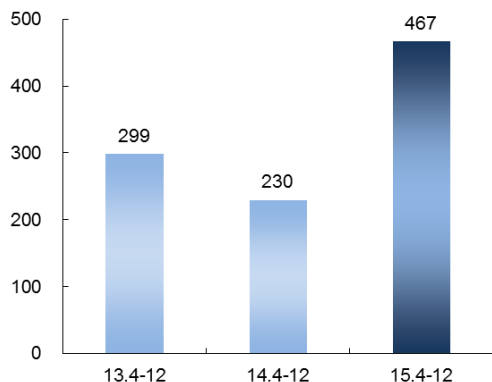


- ・訪日観光客の増加などにより、ホテル・旅館などの運営事業が好調。
- ・活況な不動産市場を背景に、不動産売却益が増加し、保有資産の評価損も減少。
- ・セグメント利益は、前年同期比97%増の444億円を計上。

【事業投資事業部門】

環境エネルギー、プリンシパル・インベストメント、サービサー（債権回収）

<第3四半期累計セグメント利益>（単位：億円）

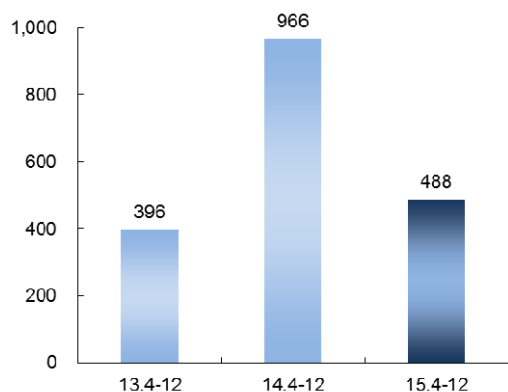


- ・投資先からの収益や投資先の株式売却益、ならびに大京のマンション引渡し戸数が増加。
- ・メガソーラーが順次稼動するなど、環境エネルギー事業の収益が順調に推移。
- ・セグメント利益は、前年同期比約2倍の467億円を計上。

【リテール事業部門】

生命保険、銀行、カードローン

<第3四半期累計セグメント利益>（単位：億円）

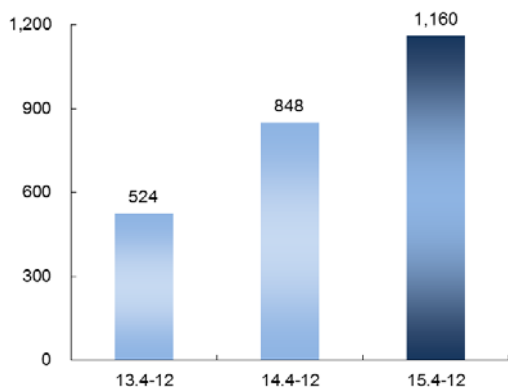


- ・生命保険の保有契約件数の増加による保険収益や、銀行のカードローンなどの資産増加による金融収益が順調に伸長。
- ・前年同期は、マネックスグループの株式売却益（約150億円）およびハートフォード生命買収に伴うバーゲン・パーチェス益（約360億円）を計上。
- ・セグメント利益は、前年同期比49%減の488億円を計上。

【海外事業部門】

リース、融資、債券投資、投資銀行、アセットマネジメント、船舶・航空機関連

<第3四半期累計セグメント利益>（単位：億円）



- ・米州の金融収益、および航空機・自動車リース資産の増加による収益の増加。
- ・当第2四半期に Houlihan Lokey, Inc. の新規株式公開に伴う株式売却益と評価益を計上。
- ・セグメント利益は、前年同期比37%増の1,160億円を計上。

オリックスグループは、事業ポートフォリオの分散による事業展開を軸としながら、中期的な経営目標として“非金融事業の拡大”による利益成長を掲げています。オリックスグループの強みと専門性を生かしながら、「既存事業の成長」と「重点分野への新規投資」を推進し、目標とする経営指標として、2018年3月期の当期純利益3,000億円の実現を目指してまいります。

詳細は、当社ホームページにて掲載の決算短信および決算補足資料をご覧ください。

URL : <http://www.orix.co.jp/grp/ir/settlement/>

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

グループ広報部 藤井・堀井・中村 TEL : 03-3435-3167